

後藤以紀先生を追悼する

駒宮安男†

後藤以紀先生は、昭和2年3月東大工学部電気工学科をご卒業、ただちに通信省電気試験所（現在の通産省工業技術院電子技術総合研究所）に入所され、同所長、工業技術院長を歴任され、昭和17年11月には東大第二工学部（現在の東大生産技術研究所）の教授をも兼任された。

先生は明治38年2月10日のお生れで、平成4年2月12日におかくなりになり、87歳であった。

最初は主として、電力関係の研究をされ、後に電磁気学、電子計算機関係の仕事をされた。

昭和17年東大教授になられた時に、小生は東大電気の学生となり、最初から後藤先生の教えをうけた。先生は、電磁気学本論という著書をかかれ、それを講義された。

小生は大学生になったばかりで、その講義をうけ、はなはだしく肝銘をうけ、卒論は後藤先生につき、就職も電気試験所にしようと思った次第である。

それ以来、先生には、公私をはじめ、種々お世話になった。

小生は、戦争中のため、学年短縮で、昭和19年電気試験所に実習生として入所し、ついで昭和20年10月に正式に入所した。そして、後藤先生の下、我が国最初の自動計算機 E. T. L. Mark I、ついで大型実用機 E. T. L. Mark II を完成した。

小生の学位論文「電気計算回路理論」も先生に提出した次第である。

先生はまた、心霊学にご興味をもたれていた。小生もその方面がすきなので、帰り道々に先生とその話をした。その時分に「心霊研究」という雑誌が発売され、横浜駅構内の本屋に売っていたので、二冊買いもとめ、一冊を先生にさしあげた。ところで、その会長の家が小生の高等学校時代からの友人で、電気試験所にも就職していた友人の

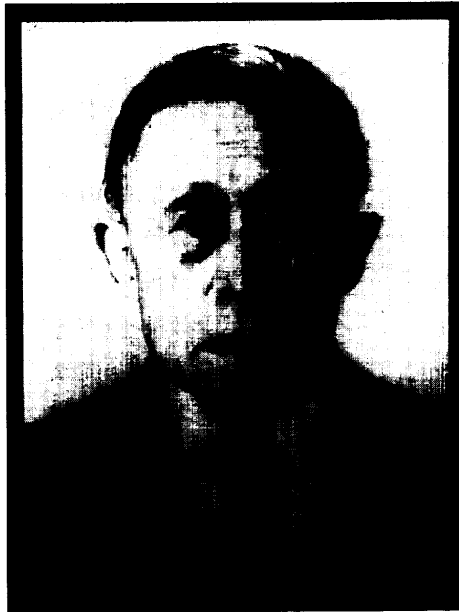
家のすぐ近くであることを知ったので、彼に、後藤先生と小生がご一緒におうかがいするからご都合はいかがかと聞いていただいた。それで、先生とご一緒におうかがいしたのが心霊への第一歩であった。その後、何回も心霊実験会を会長の家で拝見した。

また、先生は、月の裏側の念写に興味をもたれ、表面の写真より類推して裏側を解析し念写の写真と対比され、非常によく合致することを示した。

実は、その頃はまだ心霊協会は私的な団体であったが、先生方が相談して、財団法人日本心霊科学協会をうちたてたのである。それ以来、先生は法人の理事をされていた。

また、先生は昭和38年学会の第2代会長として社団法人設立に尽力され、今日の学会隆盛の礎をきずかれました。昭和50年に名誉会員、昭和60年にはそれまでのご功績により創立25周年記念特別功績賞を受けられました。

先生がおなくなりになられたことは誠に残念なことです。つつしんでご冥福をお祈りいたします。



† 明治大学理工学部

御 略 歴

- | | |
|----------------------|--|
| 明治 38 年 2 月 10 日 | 京都府生れ |
| 大正 13 年 3 月 | 第一高等学校卒業 |
| 昭和 2 年 3 月 | 東京帝国大学工学部電気工学科卒業 |
| 2 年 4 月 | 電気試験所（現電子技術総合研究所）研究員 |
| 5 年 6 月 | 電気試験所技師 |
| 9 年 4 月 | 工学博士（東京帝国大学） |
| 17 年 11 月 | 兼任東京帝国大学教授 |
| 19 年 1 月 | 電気試験所第三部長 |
| 26 年 4 月 | 東京大学教授併任 |
| 27 年 3 月 | 工業技術庁電気試験所長 |
| 35 年 4 月 | 工業技術院長 |
| 36 年 8 月 | 新技術開発事業団開発審議会委員 |
| 36 年 10 月 | 東京工業大学教授 |
| 40 年 3 月 | 東京工業大学教授兼東京大学教授停年退官 |
| 40 年 4 月 | 明治大学教授 |
| 55 年 3 月 | 明治大学名誉教授 |
| 55 年 4 月 | 東海大学教授（工学部） |
| 58 年 3 月 | 東海大学教授停年退職 |
| 平成 3 年 4 月 | 東京工業大学名誉教授 |
| 4 年 2 月 12 日 | 逝去（87 歳） |
| 昭和 35 年 1 月～44 年 1 月 | 日本学術会議会員（第五期～第七期） |
| 35 年 5 月～36 年 5 月 | 電気学会会長 |
| 38 年 4 月～40 年 3 月 | 情報処理学会会長 |
| 47 年 5 月 | 電子情報通信学会名誉会員 |
| 50 年 5 月 | 情報処理学会名誉会員 電気学会名誉会員 |
| 受 賞 昭和 25 年 5 月 | 電気学会文献賞（電気磁気学本論） |
| 46 年 5 月 | 電気通信学会功績賞 |
| 50 年 4 月 | 勲二等瑞宝章 |
| 1983 年 | IEEE Certificate of Appreciation Award |
| 60 年 5 月 | 情報処理学会特別功績賞 |